

令和4年度

くまもと売れる米づくり
推進計画書



第10回農業・農村の風景フォトコンテスト
JAグループ熊本賞

くまもと売れる米づくり推進本部

目 次

はじめに	1
1. 基本方針	2
2. 生産対策	2
(1) 需要に応じた計画生産による米づくり	2
(2) 地域特性を活かした特色ある米づくり	2
(3) 県産 J A 米の信頼の確保	3
(4) 栽培技術向上対策	3
3. 集荷対策	3
(1) 計画生産による出荷契約の推進と履行	3
(2) 系統集荷向上対策の実施	4
(3) 関係法令の周知徹底	4
(4) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化	4
(5) 仕分け集荷対策	4
4. 販売促進対策	4
(1) 「くまさんの輝き」の認知度向上	4
(2) 大消費地での販売強化	4
(3) メディアや SNS、公共交通機関等を活用した 県産 J A 米の認知度向上	5
(4) 販促キャンペーンやイベント等による 県産 J A 米の認知度向上と販売促進	5
(5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用	5
(6) 輸出促進に向けた関係部署との連携	5
5. 食育・消費拡大対策	5
〈参考資料〉	
主力品種生産・販売計画	6
熊本県産米価格の推移	7
水稲主要品種作付地域区分	8
令和 3 年産水稲地域別・品種別面積（確定値）	9
水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率	10
令和 3 年産水稲の収穫量（熊本）	11
令和 3 年産水稲の都道府県別作況指数	13
令和 3 年産水稲の市町村別面積・収穫量（熊本）	14
令和 3 年産水稲全国都道府県別順位	15
水稲累計統計（熊本）	16

はじめに

全国の令和3年産水稲の作付面積（子実用）は140万3,000haで、前年産に比べ59,000ha減少、うち主食用作付面積は130万3,000haで、前年産に比べ6万3,000ha減少した。

作柄は北海道・東北については、天候被害も少なく、登熟が順調に推移し平年を大きく上回った。

その他の地域では、8月上旬の台風や8月中旬の低温、日照不足等の影響により登熟が平年を下回り、刈取り開始時期が平年より遅れた地域があったが、9月中旬以降、概ね天候に恵まれ登熟が順調に推移したため、平年並みまたはやや平年を下回った。

全国の10a当たりの予想収量は539kg（作況指数101）と前年産より8kg増加し、収穫量（子実用）は756万3,000t（前年比△20万t）となり、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は700万7,000tで、前年産に比べ21.9万t減少した。

熊本県における令和3年産水稲の作付面積（子実用）は3万2,300ha、主食用作付面積は3万1,200haで前年産に比べ1,100ha減少した。

水稲の作柄は、田植期の6月中旬や分けつ期の7月上旬が日照不足で経過し、初期生育や分けつが抑制され穂数が「やや少ない」となったことに加え、8月中旬が大雨等の天候不順により気温が低く日照不足で経過し、全もみ数が「少ない」となった。9月中旬以降は天候に恵まれ全もみ数が平年に比べ少なかったことによる補償作用で、粒の肥大・充実が促進され登熟は「良」となったものの、10a当たり収量は484kg（作況指数97）となった。

主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、15万1,000tで、前年産に比べ800t減少した。

販売面では、少子高齢化や食生活の多様化に加え、新型コロナウイルスの影響による生活様式も変化し、外食向け需要の減少やドラッグストア・ディスカウントストア等の販売市場の拡大がみられる。

米の1人当たりの年間消費量は減少しており、日本人口の減少を背景に主食用米の全国ベースの需要量は毎年減少している。このことから、国民一人あたりの米消費量の拡大促進と併せて、市場のニーズ・トレンドに則した販売戦略の策定や、コロナ禍による米の消費量減少や持越在庫の増加による全国的な米価の下落に対応した販売促進が必要となっている。

1. 基本方針

- (1) 県産 J A 米の信頼確保と地域特性を活かした良食味米づくり等の「生産対策」に取り組む
- (2) 実需者への安定供給による再生産価格の確保のため「集荷対策」に取り組む
- (3) 県産 J A 米の認知度向上と販売促進に向けた「販売促進対策」に取り組む
- (4) 日本型食生活の普及拡大に向けた「食育・消費拡大対策」に取り組む

2. 生産対策

全国的に新たな銘柄米が誕生し、産地間競争は年々激化していることから、県産 J A 米の安全・安心の確保はもとより、新品種「くまさんの輝き」を熊本県のリーディング品種として位置づけ、「熊本県推奨うまい米基準」に基づく生産や地域特性を活かした特色ある米づくりを推進するとともに、多収性品種による業務需要への対応等、需要に基づく生産体制を構築し、生産者の所得向上に取り組む。

(1) 需要に応じた計画生産による米づくり

① 需要に応じた生産推進

卸や実需者のニーズに応える米を安定的に供給し、県産 J A 米の有利販売につなげるため、県や関係団体と連携し、需要に応じた主食用米の生産を推進する。

② 実需者ニーズに基づいた生産体制の確立

農家・J A と取引先・販売店との意見交換等により、実需者ニーズを把握し、ニーズに基づいた生産体制を構築する。

(2) 地域特性を活かした特色ある米づくり

① くまさんの輝きを中心とした良食味ブランド米づくり

「熊本県推奨うまい米基準」に基づき、県産米戦略プロジェクトチームや関係団体と連携し、良食味米生産を強化する。

特にくまさんの輝きでは、作付け要件の緩和による作付面積の拡大を受け、一層の良食味米生産を支援するとともに、県・J A 等関係機関と連携し、(財)日本穀物検定協会の「食味ランキング」で“特 A”獲得に取り組む。

② 高付加価値米づくり

地域特性を活かした特別栽培米、酒造好適米等を推進する。

③ 多収性品種の普及

多収性品種の安定多収生産技術の確立と省力・低コスト技術の導入や団地化等の効率的な生産を推進する。

(3) 県産 J A 米の信頼の確保

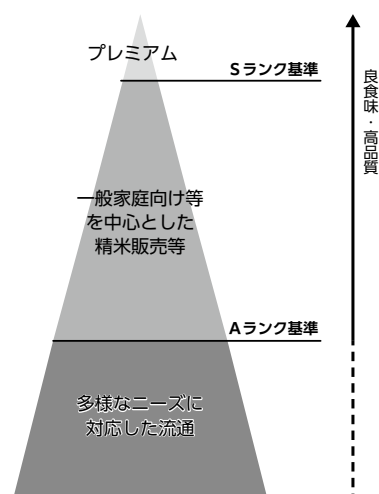
- ① 栽培基準に基づく J A 米の推進
- ② 残留農薬検査・DNA 鑑定等の実施
- ③ 生産者毎のサンプル保管と検査結果等の開示
- ④ 農産物検査技術の向上と検査員の確保

(4) 栽培技術向上対策

- ① 栽培技術向上に向けた講習会の開催
- ② 現地検討会の開催
- ③ 優良産地研修の実施

熊本県推奨うまい米基準

		Sランク	Aランク
生産基準 (栽培方法)	特別栽培米	必須	任意
	種子更新	必須	必須
	地域の耕種基準を順守	必須	必須
品質基準 (玄米)	タンパク質含有率 (水分15%換算)	6.5%以下	7.0%以下
	検査等級 (農産物検査)	1等	2等以上
	篩目(ふるいめ)の 大きさ(調整方法)	1.85mm以上	1.8mm以上
	水分	14.0 ~ 15.0%	14.0 ~ 15.0%
品質基準 (精米)	色彩選別	必須	任意



注) 熊本県奨励品種・認定品種を対象とする

3. 集荷対策

米産地としての信頼性を高め、価格安定につなげるために、関係法令の順守や共乾施設での品質事故防止対策を強化するとともに、J Aグループが一丸となり、需要や契約に基づいた集荷に取り組む。

(1) 計画生産による出荷契約の推進と履行

① 出荷契約

米の価格安定のため、出荷契約の積上げと契約に基づく集荷を推進する。

② 複数年契約

実需者の要望に基づく複数年契約を推進する。

(2) 系統集荷向上対策の実施

① くまもと売れる米づくり推進大会の実施

② 集荷体制の整備

集荷目標の必達に向けて、J A集荷推進本部、J Aグループ熊本集荷対策プロジェクトチームの活動を強化する。

③ J A出荷米の明確化

J Aが取扱う米穀と、J A以外の米穀との区別を明確にするため、「J A出荷米専用袋」並びに「J A米刻印」の管理を徹底し、J Aが取扱う米の差別化を図る。

④ 多様な集荷手法の展開

出荷契約による共同計算の委託集荷や多様化する担い手・法人への集荷対策等に取り組む。

(3) 関係法令の周知徹底

座談会等各種会議を通じて、生産者・J Aに対し、米トレサビリティ法等の関係法令を周知する。

(4) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化

① 農業倉庫での保管・管理の徹底

② 農業倉庫や共乾施設での事故防止対策と環境整備への取組強化

③ C E運営管理・環境整備コンクール開催を通じた施設運営体制の強化

(5) 仕分け集荷対策

県産J A米のブランド力向上のために、「熊本県推奨うまい米基準」に基づいた仕分け集荷を推進する。

4. 販売促進対策

熊本県のリーディング品種である「くまさんの輝き」や統一米袋の広告宣伝活動を強化し、県産J A米のブランド力向上に努める。

また、イベント・試食販売会の開催やマスメディア・SNSによるPR、販促資材等を活用した宣伝活動等により、県産J A米の認知度向上と販売促進に取り組む。

(1) 「くまさんの輝き」の認知度向上

① 「くまさんの輝き」のイベントや広報活動の実施

② 試食販売会やメディアを活用した認知度向上

③ 産地や実需者より要望の強いテレビCMの年間放送による認知度向上を図る。

(2) 大消費地での販売強化

① 大消費地（首都圏や関西地区等）での県産J A米の広告宣伝活動の実施

- ② 産地と消費地との交流会の実施
- (3) メディアやSNS、公共交通機関等を活用した県産JA米の認知度向上
 - ① テレビ・ラジオ・新聞・インターネット・雑誌等による情報発信
 - ② ホームページ・SNSによる情報発信
 - ③ ラッピングバスによる情報発信
- (4) 販促キャンペーンやイベント等による県産JA米の認知度向上と販売促進
- (5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用
- (6) 輸出促進に向けた関係部署との連携

5. 食育・消費拡大対策

農業に対する理解促進と日本型食生活の普及拡大のため、小学生や中学生等の子供たちを対象とした食農教育や「米飯学校給食運動」、「お弁当の日」等、主食である米の消費拡大につながる活動を強化する。また、子ども食堂やフードバンク等の生活支援団体との連携による地域活動にも取り組む。

- (1) 地域本部におけるアグリキッズスクール・稲作体験の支援
- (2) 地場農産物を取り入れた米飯学校給食運動や地産地消の取組強化
- (3) ご飯食「お弁当の日」の実践と普及・推進
- (4) くまもと農業フェアへの参画
- (5) 小・中学生を対象とした「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの開催支援
- (6) 農業の多面的機能等をPRするTVの制作・放映への協賛
- (7) マスメディアの有効活用
- (8) 子ども食堂やフードバンク等の生活支援団体との連携・推進

〈参考資料〉

主力品種生産・販売計画

品 種	生 産 ・ 販 売 計 画
くまさんの輝き	<p>開発に15年の歳月をかけ、平成30年に本格デビューした期待の品種。 28年産米、29年産米食味ランキングでは参考品種ながら2年連続（県北）特Aを獲得しており、おいしさ・作りやすさ・高い品質により、熊本県産米を牽引するリーディング品種として取扱いが年々拡大し、令和4年産では1,000haを超える見込み。 県民に愛されるお米を目指し、「熊本県推奨うまい米基準」にも取組み、消費者や生産者への認知度向上やイメージアップに取組む。</p>
コシヒカリ	<p>全国的なブランド品種で、産地の特性を活かした特別栽培米及びグリーン農業による生産・販売に取組む。 早期米：天草地区を中心に特別栽培米に取組み、県産米の先陣を切った早期販売に取組む。 普通期米：阿蘇地区を中心に特別栽培米に取組み、収量性の向上と良食味米向上対策に取組む。</p>
ヒノヒカリ	<p>西日本で広く生産されており、品質・食味が安定していることから、業務用・家庭用として幅広い需要がある。 11年連続（県北）「特A」を獲得するなど、県産ヒノヒカリは高い評価を得ており、令和3年産でも（県北）「特A」を獲得。 JAグループ統一精米袋商品「三度のときめき」を中心に、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム三度のときめき」の取組みを展開する。</p>
森のくまさん	<p>熊本県独自の良食味品種であり、食味ランキング（24年産米）において最高得点で特A（県北）を獲得した実績がある。品質・食味向上対策に取組み、特A獲得を目指している。近年は県外においても一定の認知度を得ている。 JAグループ統一精米袋商品「森のくまさん」、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム森のくまさん」の取組みを展開する。</p>
くまさんの力	<p>熊本県独自の良食味・耐暑性品種であり、令和2年産食味ランキングで特A（県南）を獲得している。 熊本市を中心に栽培がされており、学校給食にも採用されている。 JAグループ統一精米袋商品「熊水そだち（ゆうすいそだち）」として取組みを展開し、販売拡大に取組む。</p>
酒造好適米	<p>県オリジナル品種「華錦」を中心に契約栽培に取組み、県内需要者とのつながりを強化し計画的な販売を進める。</p>
もち米	<p>ヒヨクモチを中心に、もち米団地栽培に取組み品質向上に努め、播種前契約栽培や複数年契約栽培による安定販売を進める。</p>

熊本県産米価格の推移

(単位：円)

	コシヒカリ	ヒノヒカリ	森のくまさん	作況指数
平成6年	21,514	20,725	-	115
平成7年	20,284	19,343	-	106
平成8年	19,552	18,571	-	104
平成9年	17,470	16,664	-	100
平成10年	18,858	17,367	-	104
平成11年	17,347	16,411	16,347	81
平成12年	16,215	15,331	15,341	102
平成13年	16,323	15,300	15,305	103
平成14年	16,407	14,678	14,680	103
平成15年	22,056	18,799	18,708	96
平成16年	16,334	-	15,007	77
平成17年	15,695	14,439	14,403	93
平成18年	15,709	15,006	15,024	85
平成19年	14,868	13,741	13,625	100
平成20年	15,443	14,603	14,785	101
平成21年	14,726	14,105	13,957	100
平成22年	13,101	12,090	11,863	99
平成23年	16,245	15,059	15,273	101
平成24年	17,930	16,715	16,553	97
平成25年	15,249	14,612	15,039	97
平成26年	13,534	12,465	12,797	97
平成27年	14,793	13,659	14,386	97
平成28年	15,767	14,278	14,518	102
平成29年	15,521	14,876	14,514	102
平成30年	15,700	15,165	14,932	103
令和元年	16,000	15,380	15,399	94
令和2年	16,362	15,367	-	89
令和3年	15,007	13,337	13,557	97

※価格には運賃、包装代、消費税相当額が含まれる

※平成15年産米までは自主流通米の入札結果

※平成16年産米ヒノヒカリは、上場なし

※平成18年産米については、8月から19年10月までの加重平均

※平成19年産米については、8月から20年10月までの加重平均

※平成20年産米については、契約開始月から21年10月までの加重平均

※平成21年産米～平成24年産米については契約開始月から翌年10月までの加重平均

※平成25～令和2年産米については出回りから翌年の10月までの平均価格

※令和3年産米については出回りから翌年の4月までの平均価格

水稻主要品種作付地域区分



令和3年産水稲地域別・品種別作付面積（確定値）

令和4年3月
(単位：ha)

品種名	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草	計	品種構成%
コシヒカリ	2	58	1	1	2	1,996	107	18	4	22	1,098	3,310	10.2
構成比	0%	2%	0%	0%	0%	60%	3%	1%	0%	1%	33%	100%	
キヌヒカリ	29	8	156	0	0	2	0	726	1	0	12	933	2.9
構成比	3%	1%	17%	0%	0%	0%	0%	78%	0%	0%	1%	100%	
あきげしき	0	0	0	1	5	821	194	0	0	5	0	1,027	3.2
構成比	0%	0%	0%	0%	1%	80%	19%	0%	0%	1%	0%	100%	
ヒノヒカリ	1,224	1,067	2,697	1,537	1,934	631	2,221	1,719	540	2,496	296	16,361	50.6
構成比	7%	7%	16%	9%	12%	4%	14%	11%	3%	15%	2%	100%	
森のくまさん	1,089	1,232	593	365	11	131	247	323	13	46	24	4,074	12.6
構成比	27%	30%	15%	9%	0%	3%	6%	8%	0%	1%	1%	100%	
くまさんの力	672	18	4	1	0	0	3	151	8	7	18	880	2.7
構成比	76%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	1%	1%	2%	100%	
くまさんの輝き	36	2	19	62	40	34	354	9	31	20	6	613	1.9
構成比	6%	0%	3%	10%	6%	6%	58%	1%	5%	3%	1%	100%	
あきまさり	320	145	93	18	2	0	8	27	1	4	0	618	1.9
構成比	52%	24%	15%	3%	0%	0%	1%	4%	0%	1%	0%	100%	
やまだわら	2	28	38	0	0	86	3	117	0	28	0	302	0.9
構成比	1%	9%	13%	0%	0%	28%	1%	39%	0%	9%	0%	100%	
山田錦	1	0	23	0	0	4	5	0	1	6	0	39	0.1
構成比	3%	0%	58%	0%	0%	9%	13%	0%	2%	16%	0%	100%	
華錦	21	0	0	0	0	3	3	0	1	0	0	28	0.1
構成比	74%	0%	0%	0%	0%	11%	12%	0%	4%	0%	0%	100%	
その他うるち	83	46	117	11	44	263	54	438	7	520	42	1,626	5.0
構成比	5%	3%	7%	1%	3%	16%	3%	27%	0%	32%	3%	100%	
ミズホチカラ	38	3	95	116	2	0	9	3	0	11	0	277	0.9
構成比	14%	1%	34%	42%	1%	0%	3%	1%	0%	4%	0%	100%	
水稲うるち計	3,517	2,608	3,836	2,110	2,041	3,971	3,209	3,529	605	3,166	1,496	30,088	93.0
構成比	12%	9%	13%	7%	7%	13%	11%	12%	2%	11%	5%	100%	
ヒヨクモチ	703	95	333	64	17	2	13	735	10	9	2	1,983	6.1
構成比	35%	5%	17%	3%	1%	0%	1%	37%	0%	0%	0%	100%	
峰の雪もち	0	12	4	0	0	0	0	111	0	0	6	135	0.4
構成比	0%	9%	3%	0%	0%	0%	0%	82%	0%	0%	5%	100%	
その他もち	0	2	0	6	11	19	7	44	4	24	13	130	0.4
構成比	0%	1%	0%	4%	8%	14%	5%	34%	3%	18%	10%	100%	
水稲もち計	703	108	338	70	28	21	20	891	14	33	21	2,247	7.0
構成比	31%	5%	15%	3%	1%	1%	1%	40%	1%	1%	1%	100%	
水稲計	4,220	2,716	4,174	2,180	2,069	3,992	3,229	4,420	619	3,199	1,517	32,335	100.0
構成比	13%	8%	13%	7%	6%	12%	10%	14%	2%	10%	5%	100%	

注) 四捨五入やラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。※県水稲作付面積（子実用）公表値32,300ha
 注) 地域別水稲作付面積は農林水産統計による。（子実用：主食用米、加工用米、米粉用米、備蓄用米、種子用米の合計）
 注) 作付面積は、令和3年産水稲の市町村別作付面積（農水省）に地域毎の品種別作付け割合を乗じて算出した。
 注) 地域別品種別作付け割合は、〈参考データ〉を集計し、地域毎の品種割合を算出した。
 注) 熊本の作付面積は旧富合・城南町及び旧植木町の作付面積を含み、旧蘇陽町は上益城に含まれる。
 注) 今後、検査実績等により作付面積が修正されることがある。

(参考データ)

- ・熊本県農業共済組合水稲引受面積（支所別品種別）及び各地域営農計画書
- ・新規需要米取組面積（再生協議会別品種別新規需要米取組面積（申請結果））
- ・R3年度指定種子生産ほ場申請面積
- ・農産物検査結果

水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率

単位（検査数量：トン、等級：％）

年産	作況指数	銘柄	検査数量	1 等級	2 等級	3 等級	規格外
3 年	97 (101)	コシヒカリ	8,559	54	40	5	1
		ヒノヒカリ	30,131	33	63	3	1
		森のくまさん	9,507	12	86	2	1
		くまさんの力	3,085	69	27	3	0
		くまさんの輝き	2,225	93	7	0	-
2 年	89 (99)	コシヒカリ	7,951	70	27	2	1
		ヒノヒカリ	31,122	24	70	5	1
		森のくまさん	10,745	5	91	4	1
		くまさんの力	3,042	68	32	1	0
		くまさんの輝き	1,291	81	19	1	-
元年	94 (99)	コシヒカリ	7,989	42	50	7	1
		ヒノヒカリ	29,926	25	65	9	1
		森のくまさん	10,709	6	80	13	1
		くまさんの力	2,991	44	49	6	1
		くまさんの輝き	632	42	54	4	0
30	103 (98)	コシヒカリ	8,878	77	20	3	1
		ヒノヒカリ	36,320	34	64	2	0
		森のくまさん	12,437	11	87	2	0
		くまさんの力	3,470	61	37	1	0
		くまさんの輝き	456	81	19	0	0
29	102 (100)	コシヒカリ	9,531	30	60	8	2
		ヒノヒカリ	33,879	38	59	3	1
		森のくまさん	12,678	13	86	1	0
		くまさんの力	3,466	71	28	1	0
28	102 (103)	コシヒカリ	9,723	77	19	3	1
		ヒノヒカリ	37,245	27	70	2	1
		森のくまさん	14,480	10	88	2	1
		くまさんの力	3,501	63	33	4	1
27	97 (101)	コシヒカリ	8,859	80	18	1	1
		ヒノヒカリ	37,586	56	43	1	1
		森のくまさん	15,148	28	71	1	1
		くまさんの力	3,970	75	23	1	1
26	97 (101)	コシヒカリ	10,590	81	15	2	1
		ヒノヒカリ	36,678	51	48	1	1
		森のくまさん	10,381	45	54	1	0
		くまさんの力	4,008	73	25	2	0
25	97 (102)	コシヒカリ	11,577	71	24	3	2
		ヒノヒカリ	41,769	42	55	2	1
		森のくまさん	12,840	7	92	1	1
		くまさんの力	4,584	82	17	1	0
24	97 (102)	コシヒカリ	10,695	81	16	2	1
		ヒノヒカリ	41,194	43	55	1	0
		森のくまさん	13,319	5	94	1	0
		くまさんの力	3,720	73	25	1	0
23	101 (101)	コシヒカリ	12,297	82	16	2	1
		ヒノヒカリ	36,501	52	46	1	0
		森のくまさん	10,539	24	75	0	0
		くまさんの力	3,958	79	20	1	0

(注1) 令和3年産は令和4年3月31日現在での数値である。

(注2) 作況指数の()は全国平均

(注3) 四捨五入の関係で等級比率が100%にならないことがある。

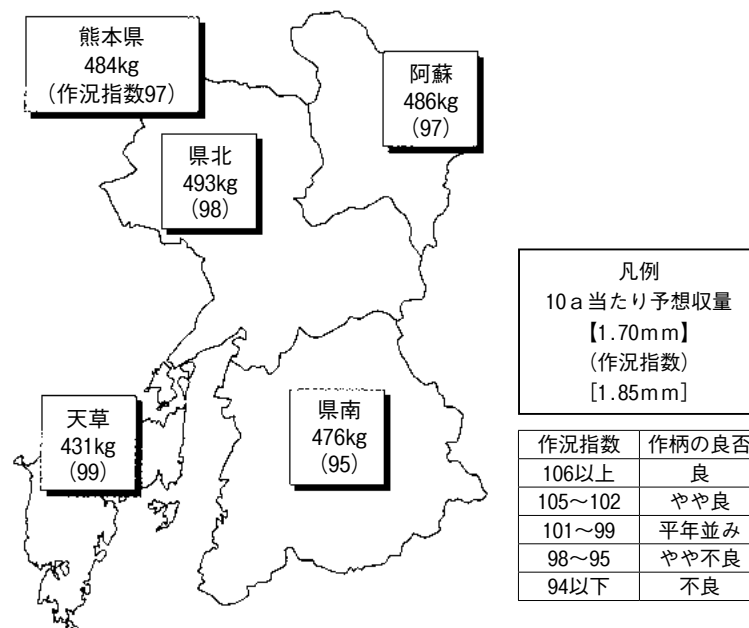
令和3年産水稻の収穫量（熊本）

水稻の10a当たり収量は484kg（作況指数97）
収穫量（子実用）は15万6,300t

【調査結果】（作柄概況）

- (1) 熊本県における令和3年産水稻の作付面積（子実用）は3万2,300haで、前年産に比べ1,000ha減少しました。うち主食用作付面積は3万1,200haで、前年産に比べ1,100ha減少しました。
- (2) 水稻の作柄は、田植期の6月中旬や分けつ期の7月上旬が平年に比べ日照不足で経過し初期成育や分けつが抑制され穂数が「やや少ない」となったことに加え、8月中旬が大雨等の天候不順により平年に比べ気温が低く日照不足で経過し全もみ数が「少ない」となったことから、9月中旬以降は天候に恵まれ全もみ数が平年に比べ少なかったことによる補償作用で粒の肥大・充実が促進され登熟は「良」と予想されるものの、10a当たり予想収量は484kg（作柄指数97）が見込まれます。
- (3) この結果、予想収穫量（子実用）は15万6,300tが見込まれます。
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は15万1,000t（前年産に比べ800t減少）が見込まれます。
- (4) 被害状況は、気象被害では分けつ期の7月上旬の日照不足に加え、幼穂形成期から減数分裂期の8月中旬が大雨等により平年に比べ気温が低く日照不足で経過したことから、穂数やもみ数に影響がみられたほか、早期栽培では倒伏や穂発芽が発生しました。また、一部の生育ステージの早い地域では登熟期の日照不足により登熟への影響がみられました。
病害では、出穂前や出穂後の防除時期となる8月中旬や9月上旬の降雨により適期防除ができず、いもち病の広がり（葉いもちから枝梗いもちや穂首いもち等へ進展）がみられます。
虫害では、スクミリンゴガイやコブノメイガによる食害、カメムシの吸汁による被害粒の発生がみられます。

図 水稻の作柄表示地帯別10a当たり収量



- 注：1 10a当たり予想収量は、1.70mmのふり目幅で選別された玄米の重量です。
2 作況指数は、令和2年度以降は都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふり目幅の分布において、最も多い使用割合のふり目の目幅（熊本県では1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値です。
3 作柄表示地帯に包括される市町村については15ページの◎各県の作柄表示地帯に掲載しています。

表1 令和3年産水陸稲の収穫

区分	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	子実用収穫量 (t)
水陸稲計	32,300	484	513	97	156,300
水稲	32,300	484	513	97	156,300
陸稲	-	-	-	-	0

表2 水陸稲の作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移

年産	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	収穫量 (t)
令和3年	32,300	484	513	97	156,300
2年	33,300	470	513	89	156,500
元年	33,300	483	513	94	160,800
平成30年	33,300	529	513	103	176,200
29年	33,300	527	513	102	175,500
28年	33,800	527	513	102	178,100
27年	35,600	500	515	97	178,000
26年	37,500	500	515	97	187,500
25年	38,400	502	515	97	192,800
24年	38,100	501	515	97	190,900
23年	37,900	519	515	101	193,600
22年	39,500	512	515	99	202,200
21年	39,700	515	515	100	204,500
20年	39,700	522	515	101	207,200
19年	41,000	513	515	100	210,300
18年	42,000	440	515	85	184,800
17年	42,700	479	515	93	204,100
16年	42,300	396	512	77	167,500
15年	40,900	491		96	200,400
14年	41,900	523		103	219,200
13年	42,800	522		103	223,000
12年	44,000	517		102	227,600
11年	45,000	407		81	182,800
10年	45,300	515		104	232,900

令和3年産水稻の都道府県別作況指数

【調査結果の概要】

令和3年産水稻の作付面積（子実用）は140万3,000ha（前年産に比べ5万9,000ha減少）で、このうち、主食用作付面積は130万3,000ha（前年産に比べ6万3,000ha減少）となった。

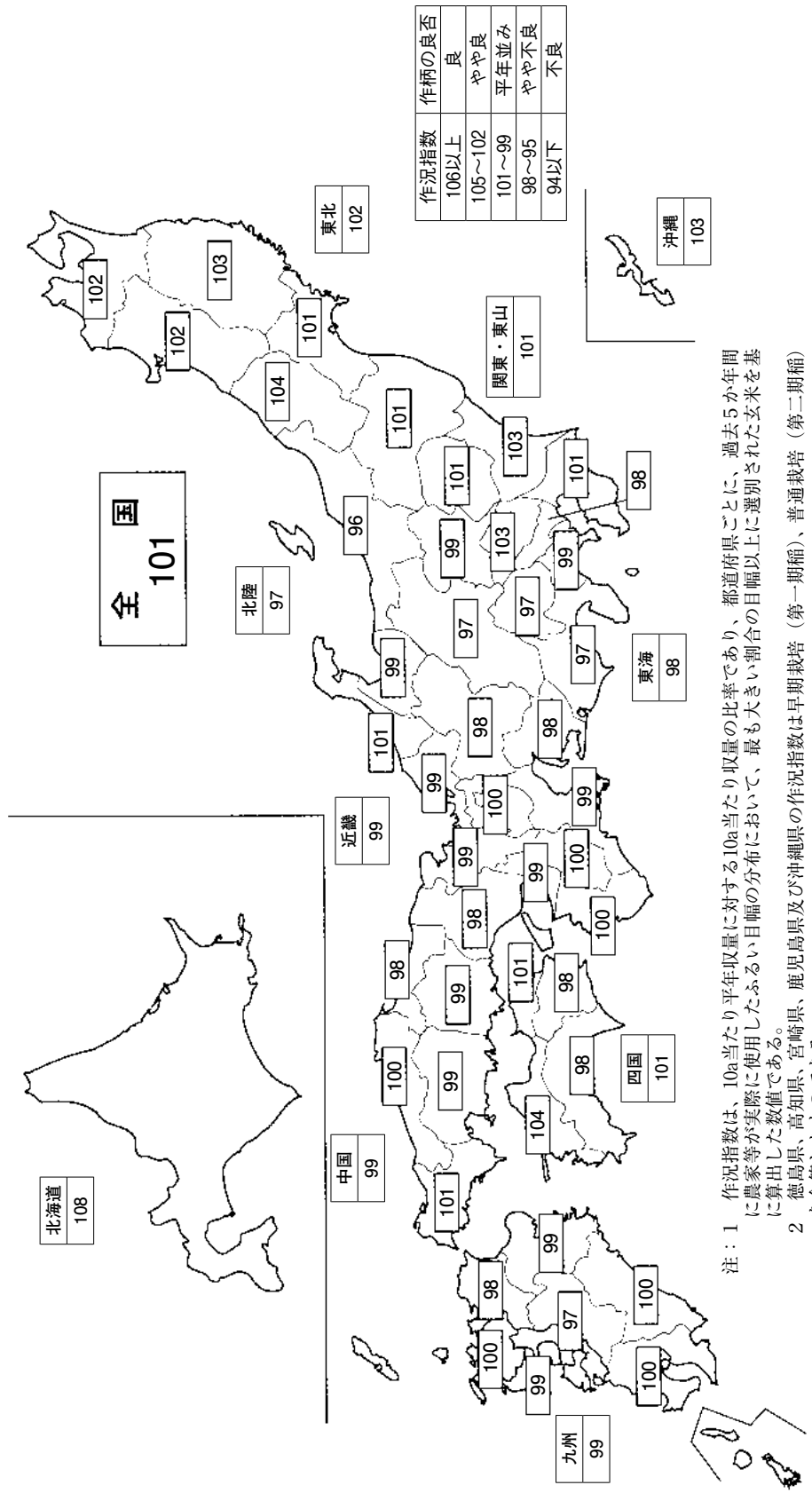
水稻の全国農業地域別の10a当たり収量は、北海道及び東北においては、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移したことから、北海道は597kg（前年産に比べ16kg増加）、東北は581kg（同5kg減少）となった。

その他の地域は、8月上旬の台風や8月中旬からの低温、日照不足等の影響により登熟が平年を下回る地域がある一方で、9月中旬以降、概ね天候に恵まれ登熟が順調に推移したことから、北陸は531kg（同19kg減少）、関東・東山は545kg（同9kg増加）、東海は493kg（同13kg増加）、近畿は503kg（同13kg増加）、中国は517kg（同33kg増加）、四国は482kg（同12kg増加）、九州は485kg（同45kg増加）、沖縄は319kg（同3kg減少）となった。

この結果、全国の10a当たり収量は539kg（前年産に比べ8kg増加）が見込まれる。

以上の結果、収穫量（子実用）は756万3,000t（前年産に比べ20万t減少）が見込まれる。

なお、農家等が使用している目標ベースの全国の作況指数は101となる見込み。



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基準に算出した数値である。
 2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

令和3年産水稻の市町村別面積・収穫量(熊本)

単位

作付面積：ha
10a当たり収量：kg
収 穫 量：t

		作付面積	10a当たり収量	収穫量			作付面積	10a当たり収量	収穫量
全 国		1,403,000	539	7,563,000	山鹿市		2,180	488	10,700
	福 岡	34,600	473	163,700	菊池市郡	菊池市	1,630	484	7,890
佐 賀	23,300	510	118,800	合志市		256	482	1,230	
長 崎	10,800	470	50,800	大津町		79	508	401	
熊 本	32,300	484	156,300	菊陽町		104	507	527	
大 分		19,600	487	95,500	市郡計		2,069	486	10,048
宮 崎		15,900	489	77,800	阿蘇市郡	阿蘇市	2,130	478	10,200
鹿 児 島		18,600	479	89,100		南小国町	208	466	969
沖 縄		666	325	2,160		小国町	261	464	1,210
熊 本	平成13年	42,700	522	222,900		産山村	166	458	760
	14年	41,900	523	219,100		高森町	199	486	967
	15年	40,800	491	200,300		西原村	87	509	443
	16年	42,300	396	167,500	南阿蘇村	941	508	4,780	
	17年	42,600	479	204,100	市郡計		3,992	484	19,329
	18年	42,000	440	184,800	上益城郡	御船町	556	506	2,810
	19年	41,000	513	210,300		嘉島町	298	508	1,510
	20年	39,700	522	207,200		益城町	778	505	3,930
	21年	39,700	515	204,500		甲佐町	377	501	1,890
	22年	39,500	512	202,200	山都町	1,220	489	5,960	
23年	37,900	519	196,700	郡計		3,229	499	16,100	
24年	38,100	501	190,900	八代市郡	八代市	3,970	510	20,300	
25年	37,900	519	196,700		氷川町	450	533	2,400	
26年	37,500	500	187,500		市郡計		4,420	514	22,700
27年	35,600	500	178,000	芦北市郡	水俣市	145	422	612	
28年	33,800	527	178,100		芦北町	416	423	1,760	
29年	33,300	527	175,500		津奈木町	58	429	249	
30年	33,300	529	176,200		市郡計		619	423	2,621
令和元年	33,300	483	160,800	球磨市郡	人吉市	403	429	1,730	
2年	33,300	470	156,500		錦町	456	450	2,050	
3年	32,300	484	156,300		多良木町	630	424	2,670	
熊本市	4,220	498	21,000		湯前町	282	423	1,190	
宇土市	642	502	3,220		水上村	138	433	598	
宇城市	1,690	490	8,300		相良村	157	421	661	
下益城	美里町	384	448	1,720	五木村	7	344	24	
	郡計	384	448	1,720	山江村	112	407	456	
玉 名 市 郡	荒尾市	363	471	1,710	球磨村	50	385	193	
	玉名市	2,440	497	12,100	あさぎり町	964	444	4,280	
	玉東町	146	472	689	市郡計		3,199	433	13,852
	南関町	384	473	1,820	天草市郡	上天草市	189	436	824
	長洲町	313	493	1,540		天草市	1,180	427	5,030
	和水町	528	465	2,460		苓北町	148	445	659
市郡計	4,174	487	20,319	市郡計		1,517	429	6,513	

令和3年産水稻全国都道府県別順位

順位	都道府県	作付面積 子実用(ha)	都道府県	10a当たり 収量(kg)	都道府県	収穫量 子実用(t)	都道府県	10a当たり 平年収量(kg)	都道府県	作況指数
	全国	1,462,000	全国	531	全国	7,763,000	全国	535	全国	99
1	新潟	117,200	山形	626	新潟	620,000	山形	626	北海道	108
2	北海道	96,100	青森	616	北海道	573,700	青森	616	沖縄	105
3	秋田	84,800	長野	603	秋田	501,200	長野	603	山形	104
4	宮城	64,600	北海道	597	山形	393,800	北海道	597	愛媛	104
5	茨城	63,500	秋田	591	宮城	353,400	秋田	591	岩手	103
6	山形	62,900	福島	555	茨城	344,800	福島	555	茨城	103
7	福島	60,500	岩手	555	福島	335,800	岩手	555	埼玉	103
8	栃木	54,800	富山	551	栃木	300,900	富山	551	青森	102
9	千葉	50,600	栃木	549	千葉	277,800	栃木	549	秋田	102
10	岩手	48,400	千葉	549	岩手	268,600	千葉	549	福島	101
11	青森	41,700	宮城	547	青森	256,900	宮城	547	栃木	101
12	富山	36,300	茨城	543	富山	200,000	茨城	543	千葉	101
13	兵庫	35,800	山梨	532	長野	189,900	山梨	532	宮城	101
14	福岡	34,600	新潟	529	兵庫	175,800	新潟	529	石川	101
15	熊本	32,300	石川	527	福岡	163,700	石川	527	山口	101
16	長野	31,500	岡山	524	熊本	156,300	岡山	524	香川	101
17	滋賀	30,100	広島	522	滋賀	156,200	広島	522	島根	100
18	埼玉	30,000	島根	521	埼玉	152,400	島根	521	滋賀	100
19	岡山	28,800	滋賀	519	岡山	150,900	滋賀	519	奈良	100
20	愛知	26,400	福井	515	愛知	130,900	福井	515	佐賀	100
21	三重	26,300	奈良	512	三重	130,200	奈良	512	和歌山	100
22	福井	24,500	佐賀	510	福井	126,200	佐賀	510	宮崎	100
23	石川	23,800	愛媛	510	石川	125,400	愛媛	510	鹿児島	100
24	佐賀	23,300	埼玉	508	佐賀	118,800	埼玉	508	富山	99
25	広島	22,200	山口	506	広島	115,900	山口	506	岡山	99
26	岐阜	21,600	静岡	506	岐阜	103,200	静岡	506	広島	99
27	大分	19,600	鳥取	505	大分	95,500	鳥取	505	福井	99
28	鹿児島	18,600	京都	504	山口	93,100	京都	504	京都	99
29	山口	18,400	香川	501	鹿児島	89,100	香川	501	三重	99
30	島根	16,800	和歌山	497	島根	87,500	和歌山	497	群馬	99
31	宮崎	15,900	愛知	496	宮崎	77,800	愛知	496	神奈川	99
32	静岡	15,300	三重	495	静岡	77,400	三重	495	大阪	99
33	群馬	14,900	群馬	492	群馬	73,300	群馬	492	大分	99
34	京都	14,200	神奈川	492	京都	71,600	神奈川	492	長崎	99
35	愛媛	13,200	兵庫	491	愛媛	67,300	兵庫	491	鳥取	98
36	鳥取	12,600	大阪	490	鳥取	63,600	大阪	490	愛知	98
37	香川	11,300	宮崎	489	香川	56,600	宮崎	489	兵庫	98
38	高知	11,000	大分	487	長崎	50,800	大分	487	岐阜	98
39	長崎	10,800	熊本	484	高知	49,600	熊本	484	福岡	98
40	徳島	10,300	鹿児島	479	徳島	47,900	鹿児島	479	徳島	98
41	奈良	8,440	岐阜	478	奈良	43,200	岐阜	478	高知	98
42	和歌山	6,100	福岡	473	和歌山	30,300	福岡	473	東京	98
43	山梨	4,850	長崎	470	山梨	25,800	長崎	470	長野	97
44	大阪	4,620	徳島	465	大阪	22,600	徳島	465	山梨	97
45	神奈川	2,920	高知	451	神奈川	14,400	高知	451	静岡	97
46	沖縄	666	東京	405	沖縄	2,160	東京	405	熊本	97
47	東京	120	沖縄	325	東京	486	沖縄	325	新潟	96

注：作付面積は、青刈り面積を除いた子実用の作付面積である。

水稻累計統計（熊本）

（単位：ha, kg, トン）

年次	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作況指数	10a当たり平均収量	備考
昭和 31	75,100	350	262,900	97	360	
32	75,400	336	253,400	93	360	大雨、台風2回
33	75,200	427	320,500	118	362	
34	76,000	402	305,700	111	361	
35	76,300	403	307,900	109	370	
36	76,700	387	297,000	102	381	
37	76,700	400	307,000	102	392	
38	76,200	416	317,300	105	396	
39	76,000	415	315,500	103	402	
40	76,300	412	314,400	101	407	
41	76,600	470	360,000	115	407	
42	77,600	486	377,100	119	407	
43	79,400	457	362,900	108	422	
44	79,900	469	374,700	105	447	
45	71,700	418	299,700	91	461	9月中旬以降寡照
46	66,700	416	277,500	90	463	台風19号
47	65,600	488	320,100	105	464	
48	67,100	462	310,000	100	464	
49	70,300	478	336,000	103	464	
50	41,900	501	360,200	108	464	
51	72,500	442	320,500	95	467	台風17号
52	72,300	492	355,700	105	467	
53	67,000	500	335,000	106	470	
54	64,600	491	317,200	104	473	
55	61,500	430	264,500	91	475	台風13、16号
56	58,900	505	297,400	106	475	
57	58,300	463	269,900	97	479	台風10、13、18、19号
58	58,900	475	279,800	99	479	
59	60,100	505	303,500	105	479	
60	61,100	487	297,600	101	481	
61	60,200	520	313,000	108	483	
62	54,800	462	253,200	95	486	風水害、日照不足
63	53,600	525	281,400	108	486	
平成 元	52,800	517	273,000	106	488	
2	52,200	497	259,400	101	492	
3	51,300	416	213,400	84	494	台風19号、生育期寡照
4	53,000	492	260,800	100	494	
5	53,500	378	202,200	77	494	長雨、低温、日照不足
6	56,600	570	322,600	115	494	
7	52,400	522	273,500	106	494	
8	49,200	512	251,900	104	494	
9	48,800	495	241,600	100	495	
10	45,200	515	232,800	104	495	
11	44,900	407	182,700	81	500	台風18号
12	44,000	517	227,500	102	505	
13	42,700	522	222,900	103	505	
14	41,900	523	219,100	103	509	
15	40,800	491	200,300	96	511	
16	42,300	396	167,500	77	512	台風16、18号
17	42,600	479	204,100	93	515	台風14号
18	42,000	440	184,800	85	515	台風13号
19	41,000	513	210,300	100	515	
20	39,700	522	207,200	101	515	
21	39,700	515	204,500	100	515	
22	39,500	512	202,200	99	515	
23	37,900	519	196,700	101	515	東日本大震災
24	38,100	501	190,900	97	515	九州北部豪雨
25	38,400	502	192,800	97	515	
26	37,500	500	187,500	97	515	日照不足、ウンカ
27	35,600	500	178,000	97	515	日照不足、いもち病、台風15号
28	33,800	527	178,100	102	513	
29	33,300	527	175,500	102	513	
30	33,300	529	176,200	103	513	
令和 元	33,300	483	160,800	94	513	台風17号、ウンカ
2	33,300	470	156,500	89	513	7月豪雨、台風9・10号、ウンカ
3	32,300	484	156,300	97	513	